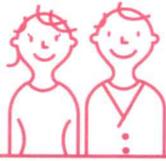


「慰安婦」問題とジェンダー平等ニュース



第5号 2011年4月1日発行



発行：「慰安婦」問題とジェンダー平等ゼミナール 〒113-0021 東京都文京区本駒込 6-14-8-205 吉川気付 電話&FAX 03-3941-4838

世話人会総会 -白熱した議論でゼミナールの意義を確認-

第1回世話人総会報告 2011年3月7日

棚橋昌代

前日の大成功した館山かた村フィールドワークの疲れと興奮もさめない翌3月7日は雪の朝。エデュカス東京で午前中、世話人総会を開いた。世話人16人のうち12人が出席。昨年5月に発足した当ゼミナールの活動を振り返りながら、このゼミナールの運動を進める意義などが深まる論議だった。

そもそもこの会は、吉川春子さんの出版記念会の実行委員たちの会が、『「慰安婦」問題と女性の人権を考える会』に発展し、ブックレット『「慰安婦」問題と女性の人権を見すえて』を発行。そのメンバーの呼びかけで2010年の5月に交流会を開き、「慰安婦」問題の早期解決やジェンダー平等実現のため、学習し世論を高める目的でこのゼミの誕生となった。

他団体でもこの問題の運動に取り組んでいるのに、なぜ今このゼミをつくるのかという声もあったということに対して議論が沸騰。既存の活動から外れている人たちも地域などにいる。どこでも誰でも、この問題に意欲のある人たちが取り組むことが問題解決の道ではないのか。少しは知ってはいたが、この問題を人権、ジェンダー平等と結びつけてとらえる視点があるこのゼミは画期的。この問題ひとつに絞って地域に訴えられる貴重なゼミだ...など「慰安婦」問題への熱い思いがほとばしりた。会員をさらに広げ、若い人たちにももっと呼びかける。運営では会場などゼミの運営費を減らす努力もしていく一方で、会のDVD販売、カンパ呼びかけなどで会の財政を潤していく、会計も大変だが、会費納入を促し、財政の確立をはかるといことも確認した。名古屋の会員が多いので、ゼミの名古屋開催もしようということに。時間のないうち、ゼミの存在意義を問う貴重な総会となった。

決定された議案から

【会員】

会員と会員外のゼミナール参加者 300名弱

【役員人事】

代表世話人 吉川春子 副代表世話人 大森典子・水野磯子
事務局 長 棚橋昌代 事務局次長 後藤ひろみ

世話人 池田靖子・井上美代・木村康子・具島順子・瀬古由起子
田辺満喜男・中嶋晴代・三宅良子・宮崎信恵・吉村始子
四ツ谷光子・和田章子

【活動をふりかえって】

- ① 第1回ゼミナール 2010年9月20日 79名参加
テーマ：「慰安婦」問題とは何か 何をなすべきか等基本的問題
講師：大森典子・吉川春子
- ② 第2回ゼミナール 2010年12月12日 71名参加
テーマ：「慰安婦」問題解決と国際社会が求めるもの
講師：中原道子 証言：元軍属 松原勝さん 元兵士 仙波藤吾さん
- ③ 第1回フィールドワーク：館山「嘘、従軍慰安婦」の碑
- ④ ニュース発行4回

【会計】

- ① 会計年度は4月1日から翌年3月31日までとする。
- ② 会費納入は会計年度内1回1000円 振込用紙での納入を基本とする。
- ③ 会計収支報告 収入：528,130円 支出：373,130円
ニュース発行費(第4号は外部発注)郵送費、ゼミ(会場、講師、その他)
- ④ 2011年度の予算 600,000円(会費、ゼミ参加費、賛同カンパなどで)

地震お見舞い—力を合わせて乗り越えましょう

2011年3月22日 吉川春子

千年に一度という東北関東大地震が発生。22日現在、2万人超の死者行方不明者が出ています。災害にあわれた皆様に心からお見舞い申し上げます。避難所で全てが不足しプライバシーもない不自由な生活の人々、また高齢者や女性がどうしているか心が痛みます。

地方自治体は90年代から政府の音頭で町村合併が進み、職員・議員の大幅減でこうした災害の対応には困難を極めているでしょう。加えて1979年の米スリーマイル島事故を上回る福島原発事故が収束する見通しもなく大震災復旧の遅れの原因になっています。

1号機から4号機まで水素爆発等、停止中だった5号機6号機も危険な事態です。首相が3月21日、福島・茨城・栃木・群馬のホウレンソウ、福島産の原乳の出荷停止を指示し、「放射能による健康に被害はない」との官房長官発言を国民はそのまま受取れるのでしょうか。

私は科学技術特別委員でしたので敦賀、東海事故の度に調査に行き、原発の危険性は国会で何度も追及してきましたが政府(自民党)は「原発は安全」と答弁してきました。さらに安全を大宣伝してきた東京電力。企業に甘い政治が今回の事故を招いたと言えないでしょうか。

当日私は国会図書館で地震に遭遇して『帰宅難民』と化し三時間かかり帰宅。マンションの水タンクが故障し断水、埼玉に帰宅できない数人が身を寄せてきました。東京は14日から「計画停電」で交通機関が部分ストップし通勤も混乱し、頻発する余震で子どもたちにも不安を与えています。

皆様、あらゆる知恵を発揮し協力し困難を乗り越えましょう。そして自然災害を人災にしない政治の実現のために力を合わせましょう。

「噫(ああ)従軍慰安婦の碑」と戦跡を訪ねて



お土産に頂いたポピーが綺麗に咲きました

3月6日(日)幸いお天気に恵まれ、43.5人の参加者は大型バスで館山に。0.5人とは、2歳の幼児もお母さんと一緒に参加したからです。最高齢者はお元気な92歳の女性。男性は5人。首都圏ばかりでなく長崎、福岡、新潟、名古屋からも7人が参加。車内では、吉川代表・大森副代表の挨拶、第1回のゼミナールのDVDのダイジェスト版の鑑賞、自己紹介、「慰安婦」の歌「誇りを胸に」などを全員で歌い和やかな雰囲気でした。車窓からは一面の黄色の菜の花畑と、遠く富士山を東京湾のかなたに望みながら館山市に到着。

早速、会場となったホテルのホールで、約1時間、NPO法人安房文化遺産フォーラムの池田恵美子さんの講義を聞きました。パワーポイントを使い、館山の歴史、中でも軍都としての戦前戦中の軍事的役割、軍事施設や要塞作りのお話には迫力がありました。また、一同が驚いたのは、知られざる「名もない女の碑」として、「慰安婦」の石碑が建てられているというお話でした(左欄参照)。次いで、同法人の愛沢伸雄理事長が歓迎のために駆けつけて、貴重なお話をして下さいました。

その後、ホテルでの昼食後、池田さんを含む3人のガイドさんの案内で、赤山地下壕に入り、ヘルメットを被り懐中電灯で足元を照らしながら秘密性の強い軍事施設の痕跡をたどって中を見学。奉安殿の跡と思われる箇所もありました。その後、かいた婦人の村に移動、城田すず子さんの告白と懇願に応じて建立された「噫 従軍慰安婦の碑」を見学。会堂の納骨室では城田すず子さん、深津牧師夫妻の遺影に献花、黙祷を捧げました。続いて天羽施設長より、すず子さんの告白を受けて碑を建立したときの深津牧師の想いや、苦しみと絶望の中に打ち捨てられ、顧みられることのなかった「慰安婦」たちの心の安らぐ場所ができたことに喜び、はるかに太平洋を望む碑の前で「みんなここに帰っておいで!」と叫んだというすず子さんの話など、普段はなかなか聞くことのできない貴重な話を伺うことができました。

内容の濃い、感動と発見がいっぱいのフィールドワークだったと思います。
フィールドワーク担当 後藤ひろみ



「噫 従軍慰安婦の碑」の前で 見学は2班に分かれて行った



名も無き女の碑

東京の男性が「慰安婦」を悼んで建てた碑が鴨川市にあった！
下は石碑に書かれている碑文。



安房文化遺産フォーラム愛沢伸雄理事長の挨拶と、約1時間にわたる池田恵美子さんの講演が行われた。

今次の大戦に 脆弱の身よく戦野に挺身
 極寒暑熱の大陸の奥に 又遠く食なき南海の孤島に
 戦塵艱苦の将兵を慰勞激励す
 時に疫病に苦しみ 敵弾に倒る
 戦い敗れて山河無く 骨を異国に埋むも人之を知らず
 戦史の陰に埋る嗚呼
 此の名も無き女性のため 小碑を建て霊を慰む
 昭和48年10月建立 東京 井谷忠衛



参加者の感想文

心新たに平和への決意を

神田時枝・92歳

この日は寒暖の激しい今年の初春としては青々とした空の気持ちの良い一日、館山では新婦人や年金者組合、「慰安婦」の碑を守っている方々の出迎えを頂き、70年前の戦争の遺跡を見学しました。小高い山頂に歴史の証言者として静かにたたずむ「慰安婦」の碑。遙かに見渡す海の向こうはかつて彼女たちが連れて行かれた戦場が・・・『噫』まさに歴史の縮図をみる思いです。

小さな教会堂では「慰安婦」の遺影に花を捧げ、壇上のシスターのお説教を伺う。足が悪く耳も遠くなっているのに、お声が良く聞きとれず残念でしたが、両脇にはめ込まれた美しいステンドグラスを眺めながら赤い表紙の讃美歌のページをめくっていると、毎朝讃美歌と礼拝で始まったミッションスクールの女学生時代が思い出され、「慰安婦」の方の悔しい思いがいっそう身にしみて迫ってきました。帰りの車中で見た「慰安婦」にされた方の生々しい証言も衝撃的でした。車中にあるのも忘れ耳を澄まし、目を見はり・涙と怒りがふつふつと。

戦後66年。戦争を体験した私たち老人はだんだん少なくなります。でも命ある限り平和を守り続けなければと、心新たに1日でした。

3月8日 国際女性デー各地で盛り上がる!

平和でなければ地球は守れない

国際女性デー大阪集会で講演 吉川春子

3月8日夜、エル・大阪に500人の女性を集めて国際女性デー大阪集会が行われました。

壇上には実行委員会の諸団体が横断幕を持って勢ぞろいし、(写真)日本航空女性労働者から「大晦日に165人ものパイロットや客室乗務員特にベテラン乗務員らを大量解雇し乗客の安心安全を脅かす」と解雇撤回を訴えました。

ロビーには大阪AALAの日本軍「慰安婦」被害者の描いた絵やパネルが展示され、吉川元議員が「日本軍『慰安婦』問題とわたしたち」と題して講演しました。太平洋戦争70周年の今年、侵略戦争・植民地支配に反省し高齢化した「慰安婦」被害者が存命のうちにも一日も早く謝罪と補償を、そのためにも地方議会から「慰安婦」問題決議を政府に上げようと訴えました。低賃金、非正規が女性の労働者が54%を占める等、女性の貧困が「女性への暴力」の原因の一つである事を指摘し、最大の暴力「慰安婦」問題解決を訴えました。

また昨年6月、1046名問題が最高裁で和解が成立した国鉄労組員の男声コーラス大阪合唱団が「昂」「俺たちのシルクロード」等を感動的に歌いました。

最後にアピール「平和でなければ地球は守れない 生命も人権も 環境も 暮らしも 文化も」を採択しました。



大阪での集会

ジェンダー平等実現への決意を新たに

国際女性デー岩手県集会の報告 大森典子

まず岩手県の皆さんに未曾有の災害のお見舞いを申し上げます。

盛岡では3月8日、国際女性デーの岩手県集会が開かれました。「女性デーの歴史」についてのビデオを見た後、私が講師として「日本軍「慰安婦」問題を知っていますか?」と題した講演を行いました。

「慰安婦」問題について、およそのことは知っているが、詳しくは知らない、という方が多いと聞きましたので、「慰安婦」被害者の受けた被害の実情と、この問題が旧日本軍中央が組織的に整備した性奴隷制であること、この問題が未だに解決していないのは、今でも日本社会の中に女性に対する暴力を容認し、女性を性の対象として見る差別意識があり、アジアへのセックスツアーに見られるような民族差別意識も戦前と同じように残っているためではないか、という問題提起をいたしました。

短い時間でしたが、改めて日常的に気づかないで過ごしている私たちの社会の問題を、この問題が反映しているということに気づいていただいたのではないかと思います。

しかし翌9日、岩手ではかなりの地震があり、さらに追い打ちをかけるように11日、今回の大地震と津波におそわれました。皆様のご無事を祈るばかりです。

東京で 中央大会に800人が集う

男女平等をすすめる教育全国ネットワーク 後藤ひろみ

ジェンダー平等実現へ、女性差別撤廃と憲法を生かそう! 人間らしい雇用と社会保障を!などのスローガンのもと、800人の女性たちが集いました。革新新政をつくる会の小池あきら都知事候補が来賓挨拶。「無縁社会」取材したNHK社会部の蔵端美幸さんの講演。全労連女性部が「女性が力を発揮する国」としてデンマークとフィンランドの視察報告。次いで、各団体の女性代表が登場し、くらしと雇用・平和などのサブスローガンの訴えと会場一杯に「そうだ!」の唱和が響きました。私も実行委員の1人として「日本軍『慰安婦』問題の一日も早い公式謝罪と賠償を!」と大声で訴えました。(日本航空の不当解雇原告団の女性の訴え、農民連からはTPP反対の訴えなどがあり、集会后パレードを行いました。)



東京での集会

「慰安婦」問題の解決を求めて 「国への意見書」を!

愛知県での取り組み 水野磯子

自分の住んでいる自治体へ働きかけようと、署名をつくり、呼びかけ運動がひろがりはじめています。

名古屋市市中村区では、ゼミナール会員の2人が中心になり、「ナムムの家」を訪問した人などに呼びかけ「署名のお願い」文をつけ、6月議会をめざして対話で署名をはじめています。署名の呼びかけ人を女性団体、グループや平和に関心ある人にひろげようと話し合っています。

岩倉市では、1月19日、吉川春子さんを講師に「慰安婦」問題学習、50人の会場は満杯。参加者Hさんは、「植民地支配、侵略戦争が踏みじった女性の人権・・・と理解した。自分も何かしなければ」と。この日学んだ人たちが中心になり、国への意見書をあげる運動にとり組み、3月議会に提出しましたが否決。これからも議会への署名をとりくむために「慰安婦」問題を、地域の女性たちにひろげなくてはと、ミニ学習やおしゃべり会、紙芝居をみんなで見て語り合っています。

瀬戸市では、実行委員会を立ちあげて、昨年12月議会へ提出しましたが否決。2ヶ月に1回のペースでの会議は、学習を含めてつづけ、夏のピースフェスティバルに参加しようの意見も出ています。4月5日にむけて、尾張旭市では、市が国への意見書をあげる運動をすすめようと5月14日、「慰安婦」問題解決のために学習を。

豊川市では、5月8日学習を予定しています。(講師は、水野予定。)

「慰安婦」問題とセクハラ、ドメスティック・バイオレンスを考える

「慰安婦」問題は遠い時代の、かわいそうな外国女性(韓国・中国等)の問題ではありません。私たちの会が「慰安婦」問題の早期解決をめざしている理由の一つは、「慰安婦」問題が未解決のまま放置されていることが日本女性の人権侵害、とりわけ「女性への暴力」に深刻な影響を与えているからです。

そこで、第3回ゼミナールは「女性への暴力」のうちセクシャル・ハラスメント(=性的嫌がらせ)と、配偶者暴力(ドメスティック・バイオレンス=DV)について考えます。

東京都(1997年)と政府(1999, 2002, 05, 08)の調査で配偶者の暴力を受けた女性は3人に1人で、どの調査も同じ傾向です。2001年にDV被害者保護法が成立しましたが、マスコミに報道される凶悪事件を含めて配偶者暴力は減っていません。夫はなぜ妻に暴力をふるうのか、またこんなに多くの女性が苦しんでいるのに被害女性は名乗り出ないのは何故か、若者のデートDVはなぜ起きるのか。セクハラは雇用機会均等法に企業の防止義務が課されています。

厚生労働省への女性労働者からの相談件数のトップはセクハラであり、学校の女教師もセクハラ被害に多数あっているという調査結果もあります。職場を辞めざるを得ない女性がいる一方で上司によるもみ消しなど、セクハラについて一緒に考えましょう。



日時: 2011年5月29日(日)
13:00-16:30

場所: 女性センター・アイリス
渋谷区文化総合センター大和田 8階
会場は最近完成した渋谷区の施設で立派な建物の中にあります。

交通: JR渋谷駅西口徒歩5分
上の地図参照

参加費: 1000円(学生500円)
連絡先: 090-4227-7478

講演と講師紹介

●セクハラについて「セクハラの本質は何か」 / 杉井静子弁護士

セクハラという言葉を日本に紹介したこの問題の第1人者。弁護士としても数々のセクハラ事件に立ち会い解決のため活躍してきた。著書に「セクシュアルハラスメント処方箋—職場の新しい男女関係—弁護士からのアドバイス」(たかが姓 されど姓)(新日本出版社)

●ドメスティック・バイオレンス 「配偶者暴力被害者の救済・保護活動から見えるもの」 / 土方聖子

NPO法人全国女性シェルターネットワーク共同代表
このNPOは配偶者暴力被害者の救済保護、自立支を行っている全国のNGOネットワークで、毎年1回、DV問題等で全国大会を行ってきた。参議院で「配偶者暴力被害者保護法(DV法)」議論の際にも立法のための意見表明を行った。

●『慰安婦』問題とDV、セク・ハラの根は一つ / 吉川春子

元参議院議員として「配偶者暴力被害者保護法(DV法)」の立法に携わった吉川春子より、「慰安婦」問題とDV、セクハラ等「女性への暴力」問題についてお話しします。

世話人のひとこと

棚橋昌代

高校生の意見表明権を保障する活動として高校生のつどい、教科書問題、ジェンダーと教育などにとりこんできて、「慰安婦」問題までは手がつけられないと遠ざけていた課題にいきなり踏み入れることになったのも、「慰安婦」問題のもつ待たなしの状況をみないわけには行かなくなったからだと思います。

東京の石原都政の「日の丸・君が代」強制で、思想信条の自由を奪われる苦しみ、人権を踏みつけにされた屈辱感で心身ともに深く傷つきました。戦後60年以上も経ち、まだ侵略戦争に突き進んでいった思想で、現在の世の中を動かそうとしている勢力があり、しかも当時の青年たちを戦争に追いやった教育を復活させようとしているのかと思うと、悔しさでいっぱいになります。

「慰安婦」問題について国家としての責任などに思いも至らないほどさがその象徴です。今まで「教育に自由と民主主義を」と組合などでも取り組んできましたが、まだまだ運動の足りなさを感じていたところでした。私にとっても、「慰安婦」問題から、新たな視点で、教育に自由を取り戻す活動ができたらと思っているところです。

お知らせ

第1回ゼミナールのDVD発売中

「慰安婦」問題の学習に是非ご利用ください。

1枚700円です。(送料別)



ジェンダーニュース 第6号原稿募集

皆さまの地域での「慰安婦」問題の取り組み、ニュースへの注文、感想なんでも結構です。原稿をお寄せください。字数600字以内、6月15日締め切り。

会費・カンパ 納入のお願い

この会は皆さまの会費とカンパで運営されています。2011年度の会費の納入をぜひお願いします。

振込先: 郵貯銀行口座へ
加入者名: 「慰安婦」問題とジェンダー平等ゼミナール
口座番号: 0270-5-140303

スタッフから お詫び

ニュース第4号は頂いた原稿に校正ミスがありました。ご迷惑をおかけしました。